

はじめに

この報告書は、お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センターが平成 28 年度に実施した「キャリア意識調査」の結果をまとめたものです。本調査は平成 23 年度に実施された「キャリア意識調査」に項目を追加して実施致しました。調査の目的は、学部生および大学院博士前期課程生を対象に、学生のキャリア意識・キャリア行動、キャリア教育・キャリア支援の実施効果に関する意識およびニーズを把握し、お茶の水女子大学においてどのような教育や支援の改善を行うべきかを検討することにあります。

調査の背景として、お茶の水女子大学では、就業力の基礎となるコンピテンシーを備えた女性リーダーの育成に向けた取り組みとして、2011 年度より学生・キャリア支援センターが中心となりキャリア教育およびキャリア支援を実施してきました。若年層の就業力が社会的課題となる中、大学および大学院でのキャリア教育・キャリア支援は大学における重要な取り組みのひとつとして位置づけられています。『平成 28 年度新入生の生活に関する調査報告書』（お茶の水女子大学 2016）によれば、本学に期待する学生支援として、新入生の 77%と保護者の 86%が大学の「就職支援」に期待を寄せると回答しており、こうした期待は継続的な傾向にあることが報告されています。

本報告書が、教育・支援に関わる教職員、特にキャリア教育・キャリア支援、進路指導などを担当する先生方、職員の皆様にとっての基礎資料として有益なものとなることを期待しております。

末筆となりますが、本調査に協力してくださった学生の皆様と関連部門の皆様から感謝申し上げます。

平成 30 年 3 月 5 日

国立大学法人 お茶の水女子大学

理事 副学長

学生・キャリア支援センター長

三浦 徹

目次

調査の概要

第1章 キャリアデザインプログラム	5
1. キャリアデザインプログラム基幹科目の受講状況.....	5
2. キャリアデザインプログラム基幹科目に対する学生の評価.....	6
第2章 キャリア行動	9
1. 2017年3月卒業および修了者のキャリア行動.....	9
2. お茶大生の進路決定とキャリア支援の利用.....	13
第3章 インターンシップ	19
1. インターンシップへの参加経験.....	19
2. インターンシップの応募方法.....	20
3. インターンシップへの参加時期と期間.....	20
第4章 キャリア意識	23
1. 将来の職業をどのように考えているか.....	23
2. 就職先を決定する際に重視すること.....	24
3. 自己分析や情報収集に関すること.....	26
4. ライフコースの考え方：将来の結婚と仕事への価値観.....	29
5. 性別役割分業意識.....	30
第5章 考察と今後のキャリア教育・キャリア支援における今後の課題	33
1. キャリア教育.....	33
2. インターンシップ.....	35
3. キャリア支援.....	36

付表

1. 調査票.....	38
2. 単純集計表.....	46

執筆担当者

中川 まり（学生・キャリア支援センター准教授）担当：調査の概要、1-4章、5章1,2
服部 典子（学生・キャリア支援センター アソシエイト・フェロー）担当：5章3
山本 菜月（学生・キャリア支援センター アカデミック・アシスタント）担当：付表2

参考文献

- お茶の水女子大学（2016）「平成 28 年度新入生の生活に関する調査報告書」。
——（2017）「平成 29 年度 新入生の生活に関する調査報告書」。
文部科学省（2017）「平成 27 年度大学等におけるインターンシップの実施状況について」。